令和8年度　第６学年　人権教育にかかわる年間指導計画

小平市立小平第十四小学校

人権教育に関わる年間指導計画作成のための方針

①１年間を通して人権尊重の考え方を意識させる指導を工夫する。・・・・・「生命尊重」を軸とした学習活動を展開して(思いやり)
②体験活動や身近な問題から、自ら課題を見つけられるように援助する。（自己実現）
③日常の教育活動（友達とのかかわり、発表、話し合い活動など）においても、人権尊重の理念を意識して指導に当たる。（人間関係）
④道徳の太枠は、いじめ防止授業の例。年３回、ふれあい月間の月に実施する。

６年	4月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
各教科		国語 **『聞いて考えを深めよう』** 友達の意見や考えを聞いて考えを深める。				社会 **『幕府の政治と人々の暮らし』** 社会の様子や身分制度を調べて、江戸幕府の仕組みや考え方について理解を深める。	社会 **『明治の新しい国づくり』** 廃藩置県や四民平等など明治政府の諸改革について、人々の願いや生活と関連づけて考える。 国語 **『みんなで楽しく過ごすために』** 友達の意見や考えを聞いてお互いに考え方が違うときには、話し合って問題を解決していく姿勢を育む。		社会 **『憲法とわたしたちの暮らし』** 基本的人権について調べ、全ての人の基本的人権は守られているかどうかを考える。 保健 **病気の予防『エイズ』** HIV患者と共に生きてゆける社会を作るためにどんなことができるかを考える。		社会 **『日本とつながりの深い国々』** 自ら選んだ題材を基に主体的に学習し、自分の考えを発表しあう。 国語 **『海の命』『生きる』『人間は他の生物と何が違うのか』** 自ら選んだ題材を基に主体的に学習し、自分の考えを発表しあう。 家庭 **『共に生きる地域での生活』** 地域の人々と共に暮らせる、 保健 **『自分探しの旅』** 夢や希望を持ち、支え合うことの大切さを確認する。生命尊重、友情のすばらしさを感じ取る。	
特別の教科　道徳			**親切，思いやり** **いじめ防止①** **『心に通じた「どうぞ」のひとこと』** 相手の立場に立って思いやりの心を持ち，親切にしようとする心情を育てる。	**規則の尊重** **『法律ってなんだろう』** いじめ防止対策推進法について知ることで、いじめの定義、いじめが法律で禁止されていることを知り、相手の人権を尊				**友情，信頼** **いじめ防止②** **『ばかじゃん！』** 互いに信頼し，学び合って，真の友情を築いていこうとする態度を育てる。		**相互理解，寛容** **『銀のしょく台』** 謙虚な心を持ち，広い心で人の気持ちや立場を重んじ，相手の立場に立って考えようとする心情を育てる。	**友情，信頼** **いじめ防止③** **『言葉のおくりもの』** 異性について理解し互いに信頼し合って友情を深め，よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。	
特別活動	学級活動 **『最高学年として良い出発をしよう』**	児童会活動 **『１年生を迎える会』** 中心となって、最上級生としての自覚を持つ。		児童会活動 **『たてわり遊び』** 協力して計画準備し、下級生への思いやりの心を持つ。		児童会活動 **『十四小まつり』** 全校で協力して楽しむ十四小まつりを協力して計画・準備し進んで活動する。	学級活動 **『自分たちの生活に目を向けよう』**		代表委員会 **『ユニセフ活動』** 意義を理解し積極的に取り組む。		学級活動 **「心に残る送る会にしよう」**	
	きょうだい学年・学級活動　年間を通して異学年と交流をし、思いやりの心をもつ。											
総合的な学習	「移動教室を成功させよう」 ・自分の考えを持ち進んで発表する。 ・友達と協力して積極的に活動する。					「自分向上プロジェクト」 ・今までの人との関わりや学習活動などから、自分を見つめ直す。			「自分向上プロジェクト」 ・中学校生活について知るとともに、将来の夢・職業について考え、調べる。	「十四小に残す足跡」 ・自分と関わったものに向け、感謝の気持ちを形にする。		
その他	入学式						運動会				展覧会	卒業式